

市政に対する一般質問

十二月議会では、十日から十四日までの五日間で行われ、二十九人の議員が質問をしました。原稿は質問をした議員が要旨をまとめ、似顔絵については、議員がそれぞれ持ち寄りました。



民間活力による地域経済の活性化

新風会 森下 寛明



質問 ↓景気対策が急務。民間の力を活用した民間型の公益事業による景気対策はどうか。市や公社の未利用地等を民間へ譲渡、民間事業者は国の補助制度

答弁 ↓民間活力による塩漬け土地等の整理は公益に利する。調査研究を行う。地域経済の活性化は重要な施策。組織力の強化は、組織機構改革とあわせて検討したい。

機構改革とまちづくり

津山新学生会 吉田 耕造



質問 ↓十年ふりに行われる機構改革は、第四次総合計画を具現化するために、

効率的で生産性の高い、そして同時に行革につながる組織改革であると考え。現行の部・室・委員会と総合計画を実施していくうえで、何が不足していたのか。また、市民の皆さんから、窓口業務や市民生活について、どんな声(要望)が各部に寄せられたのか。何故、パブリックコメントを実施しなかったのか。「見える化」に逆行しているのでは。

「行政機構改革・自主財源確保・交通弱者・地域活性化」について

津山誠心会議 津本 辰己



質問 ↓行政機構改革の基本姿勢・主な取り組みについて。
答弁 ↓縦割り行政の弊害を解消、交通政策を一元的に進める部署等を設ける。

質問 ↓自主財源確保に向けて、法定外公共物の払い下げの周知を図っては。
答弁 ↓土地利用効率化のメリットを周知し、価額についても実勢価額により近くするため常に検証を行う。
質問 ↓交通弱者を救済するNPO法人等に対する行政支援について。
答弁 ↓積極的に行政も協力し、交通弱者の足確保の問題に取り組んでいく。
質問 ↓農山村都市・津山の創造に向けての「滞在型交流事業等」による地域活性化について。
答弁 ↓都市も農山村も単独では生き残れない状況。対流活動の普及が必要であり、課題と考える。